

第3回社会保障審議会 人口構造の変化に関する特別部会	資料1
平成19年 1月19日	

日本の将来推計人口

将来推計人口(平成18年推計)の概要

- 将来推計人口は、社会保障・人口問題研究所が、国勢調査等の客観的データに基づき、概ね5年ごとに将来の人口を推計。
- 今回の推計は平成17年国勢調査結果に基づき、2055年までの日本の人口を推計。
(参考推計として、2105年まで推計)

合計特殊出生率の仮定

(2005)		(2055)
1. 2 6	→	高位 1. 5 5 <1. 63> 中位 1. 2 6 <1. 39> 低位 1. 0 6 <1. 10>

※ <>内は前回推計(H14)の2050年の仮定値

非婚化、晩婚化の進行により、合計特殊出生率は、前回推計の仮定より低下。

平均寿命の仮定

(2005)		(2055)
男 78.53歳 女 85.49歳	→	中位 男 83.67 <80.95> 女 90.34 <89.22>

※ <>内は前回推計(H14)の2050年の仮定値

将来推計人口(平成18年中位推計)の結果

日本の総人口

2005年 1億2,777万人 → 2055年 8,993万人

老年人口(65歳以上)

2,576万人 → 3,646万人
[20.2%] [40.5%]

生産年齢人口(15~64歳)

8,442万人 → 4,595万人
[66.1%] [51.1%]

年少人口(0~14歳)

1,759万人 → 752万人
[13.8%] [8.4%]

前回推計(H14中位)の結果

日本の総人口

2000年 1億2,693万人 → 2050年 1億 59万人

老年人口(65歳以上)

2,204万人 [17.4%] → 3,586万人 [35.7%]

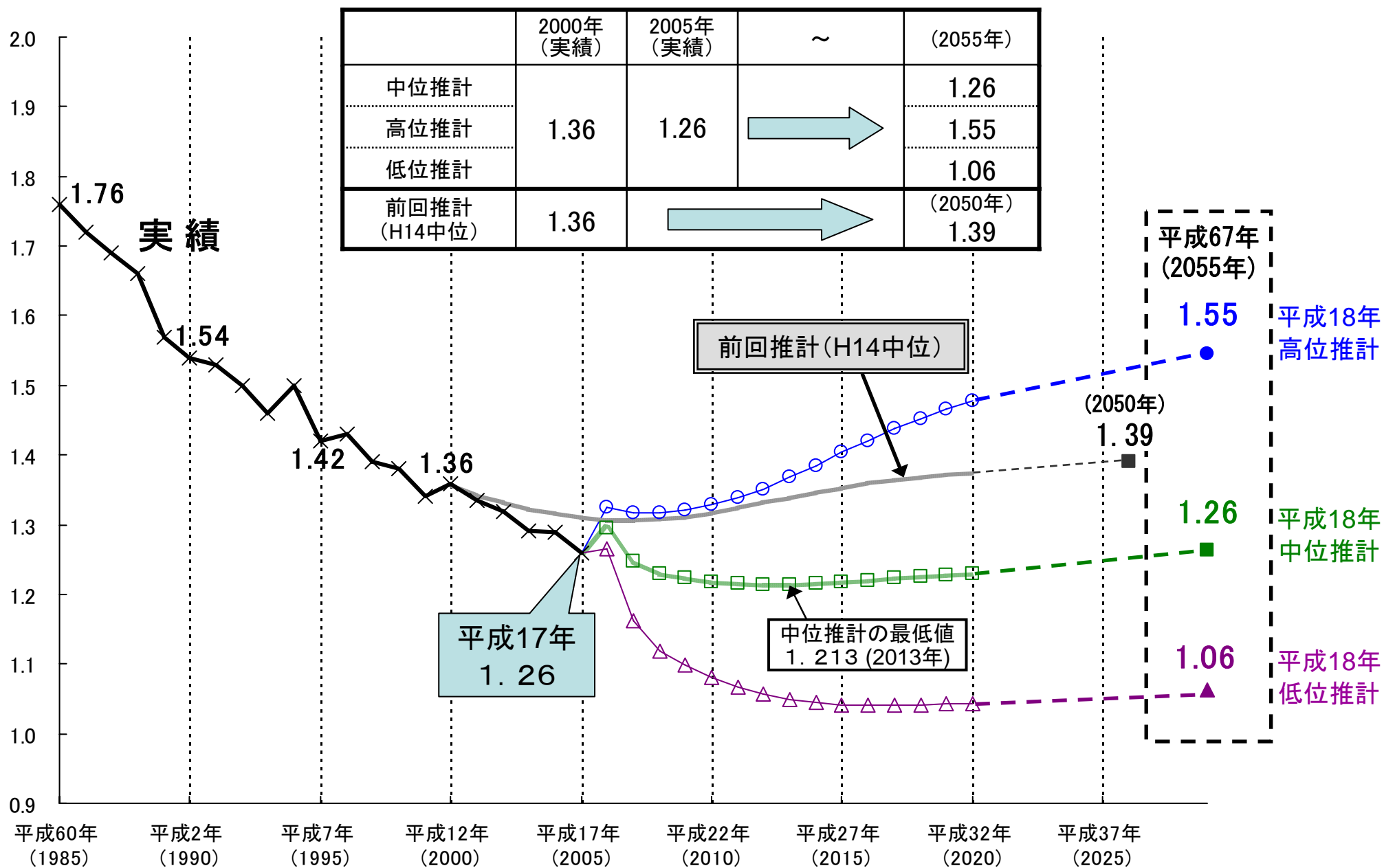
生産年齢人口(15~64歳)

8,638万人 [68.1%] → 5,389万人 [53.6%]

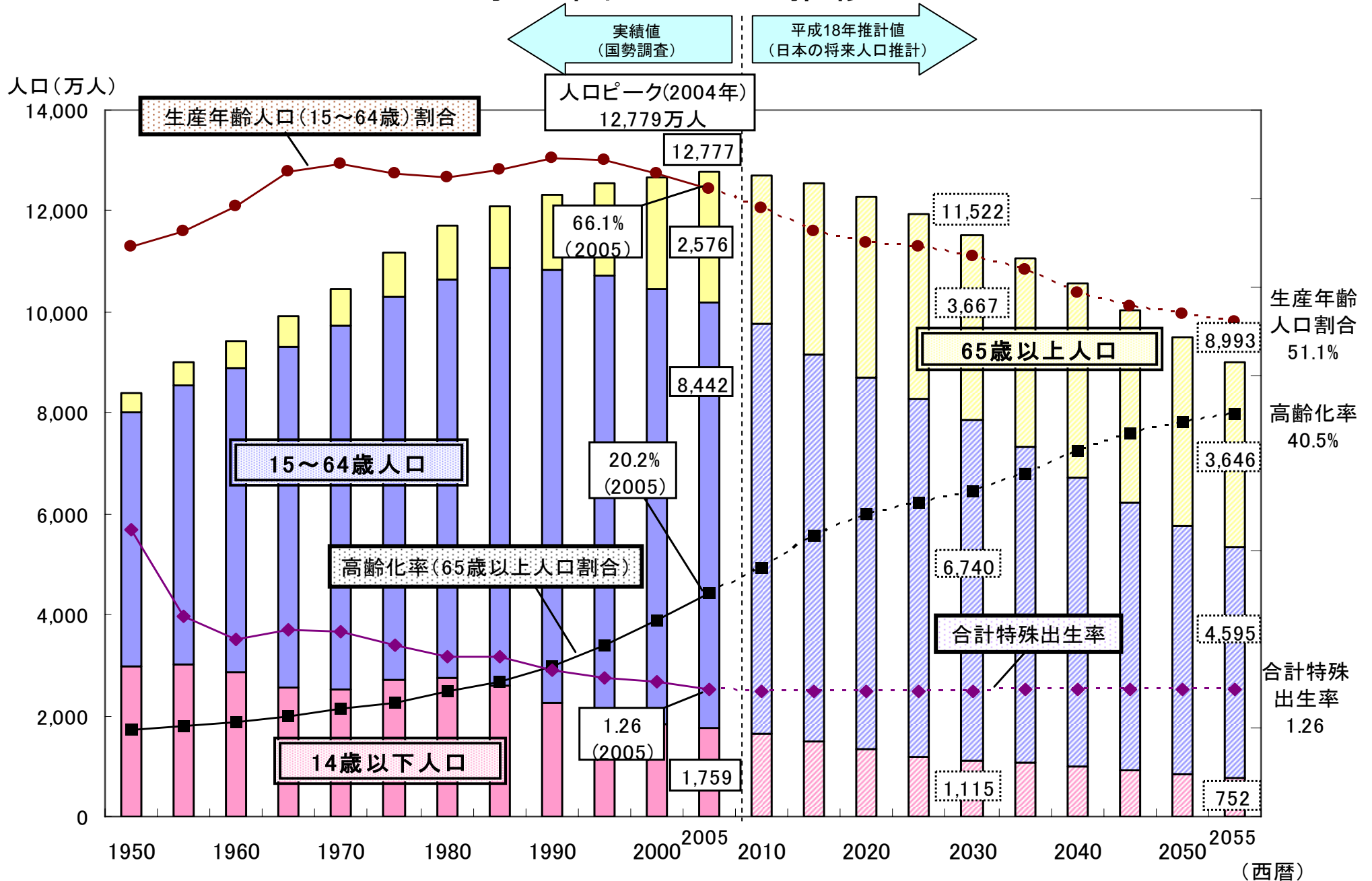
年少人口(0~14歳)

1,851万人 [14.6%] → 1,084万人 [10.8%]

合計特殊出生率の推移と将来人口推計(平成18年推計)における仮定値



我が国の人口の推移



資料: 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)中位推計」